

あかふじ ニュース

第 12 号

発行 平成28年3月
山梨県消防防災航空隊



《山梨県ホームページ》

<http://www.pref.yamanashi.jp>

《やまなし防災ポータル》

<http://bosai.pref.yamanashi.jp>

山梨県消防防災航空隊

〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷 445-1

T E L 0551-20-3601

F A X 0551-20-3603

E-mail bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp

- ・平成27年度緊急運航実績報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・山梨県消防防災ヘリコプター更新に係る検討委員会設置・・・・・・・・ 2
- ・消防救急デジタル無線について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ・平成27年9月関東・東北豪雨緊急消防援助隊応援出動報告・・ 4～8
- ・山梨県国民保護実動訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ・静岡県消防防災航空隊緊急消防援助隊受援訓練・・・・・・・・ 10
- ・総務省中央合同庁舎2号館HP進出・離着陸訓練・・・・・・・・ 11
- ・山梨県警察本部航空隊合同訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ・合同訓練等実施内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13～18
- ・派遣終了隊員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

平成27年度緊急運航実績報告

区分	件数 人員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		救助	救助件数	4	1	10	13	11	3	2	5	2		2
	救助人員	4	1	11	11	15	4	2	3	3		2	56	
救急	救急件数	4		9	11	10	3	1	1	4		1	44	
	搬送人員	4		10	11	12	3	1	1	5		1	48	
火災	災害件数			1		1							2	
	飛行回数			1		2							3	
災害応 急対策	災害件数													
	飛行回数													
件数小計		8	2	19	25	21	6	3	6	6		3	99	
相互応援・広域航空消防応援・緊急消防援助隊	救助	救助件数			2		14				1		17	
		救助人員			2		79				1		82	
	救急	救急件数		1	2		14				1		18	
		搬送人員		1	2		79				1		83	
	火災	災害件数									1		1	
		飛行回数									1		1	
	その他	災害件数					2						2	
		飛行回数					2						2	
件数小計			1	4		30				3		38		
緊急運航並びに相互応援協定・広域航空応援・緊急消防援助隊の合計件数													137	

3月31日現在

今年度の緊急運航件数は、上記表のとおり3月31日現在で137件ありました。

このうち、救助活動件数は県内外合わせて70件あり、そのうち県内活動が53件、相互応援協定等に基づく他県応援活動が17件でした。

緊急運航件数のうち、県内での救助活動が38%を占め、救急活動は32%、火災防御活動は2%でした。また、県外への応援活動は、28%であり、長野県、群馬県への応援活動が8件、茨城県への関東・東北豪雨緊急消防援助隊としての活動が30件ありました。

なお、4月は耐空検査、2月は消防救急デジタル無線装置搭載作業中であったため、緊急運航はありませんでした。

山梨県消防防災ヘリコプター 更新に係る検討委員会設置

山梨県消防防災ヘリコプター「あかふじ」は、平成7年4月26日の運航開始より、本年度で21年目を迎え、平成27年11月30日までの総飛行時間数は5,903時間48分となっています。

航空機は、時間・暦日点検等及び規定の部品交換等を的確に行うことを前提として、その耐久年数に限度はありませんが、飛行時間と使用年数の経過に伴いエンジンオーバーホール等大規模整備が発生するとともに、機体構造、装備品、計器類、部品等の不具合率が高くなるとされています。

本県導入機であります、シコルスキーS-76B型機は平成12年に製造を終了、機体数も減少しており、装備品及び部品等の調達が困難になりつつあることから、機体更新の検討が必要となりました。

このため、平成27年12月24日に「山梨県消防防災ヘリコプター更新に係る検討委員会」を設置し、機体更新に向けて本県の地勢やこれまでの運航状況等を検証するとともに、外部有識者及び各消防本部等の意見も参考にしながら、本県消防防災ヘリコプターに求められる性能、装備等を検討しました。

第1回検討委員会：平成27年12月24日（木）

- 山梨県消防防災ヘリコプター運航の現状について
- 山梨県消防防災ヘリコプターの更新（他県の状況等）について

第2回検討委員会：平成28年1月29日（金）

- 更新に係る山梨県消防防災ヘリコプターに求められる性能等について
- 更新に係る山梨県消防防災ヘリコプターに搭載する装備品等について

第3回検討委員会：平成28年2月12日（金）

- 山梨県消防防災ヘリコプター更新に係る検討委員会報告書（案）について



消防救急デジタル無線について

現行の消防用無線は、アナログ通信方式により150MHz帯の周波数を使用して運用してきましたが、消防救急活動の高度化及び電波の有効利用の観点から、電波法関係審査基準が平成15年10月に改訂され、消防救急無線としてデジタル通信方式が規定されるとともに、消防用無線における150MHz帯の周波数の使用は平成28年5月31日までとされました。

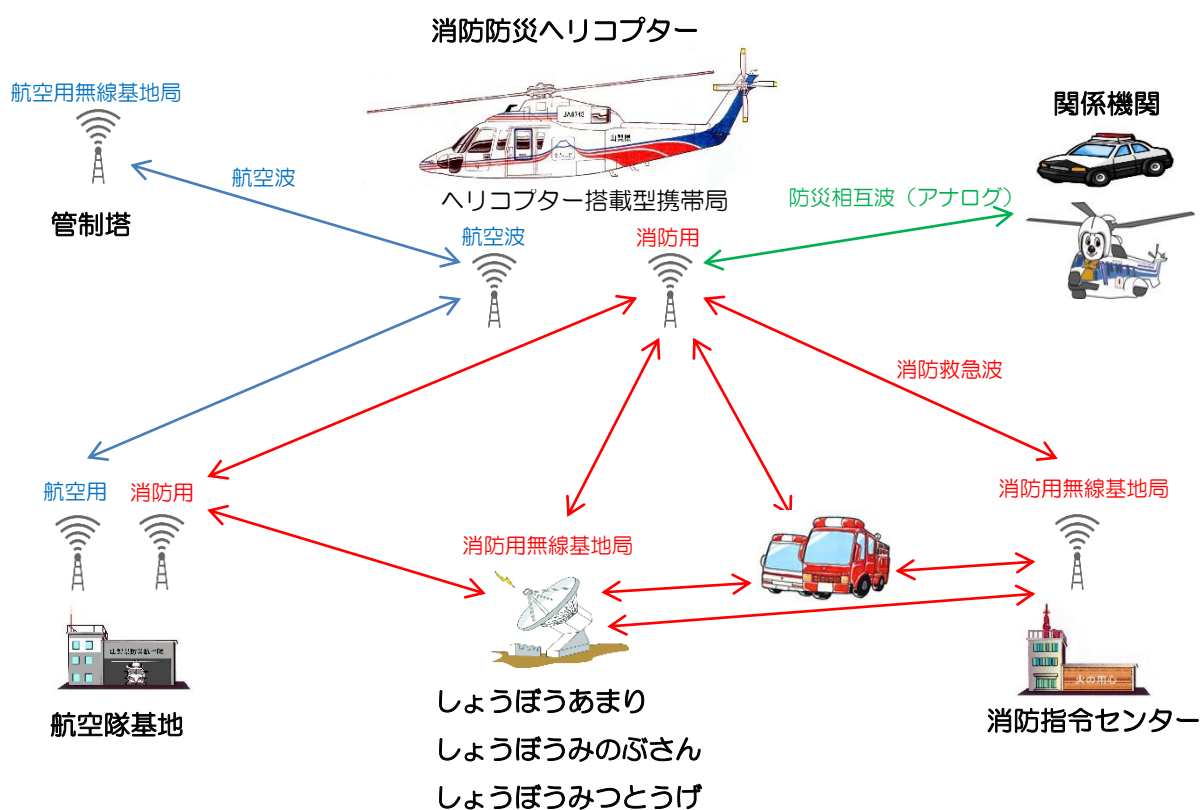
この法規改正により、アナログ通信方式の消防用無線が使用できなくなることから、山梨県及び当航空隊におきましても、平成27年度中のデジタル無線方式による消防救急無線の整備を進めてまいりました。

正式な運用開始時期及び取扱い等につきましては、改めてお知らせさせていただきますが、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

【消防行政から見たデジタル無線のメリット】

- 1 通信の秘匿性の向上により、個人情報等の情報保護が強化されます。
- 2 ショートメッセージなどの音声以外のデータ送信が可能となります。
- 3 デジタル無線のデータ送信を利用したシステムが活用できるようになります。
- 4 無線の使用する周波数帯幅を狭くすることで、使用できる無線チャンネル数が増えます。
- 5 基地局を経由した出力の高い通信が可能になり、通信エリアが拡充されます。

イメージ図



平成27年9月関東・東北豪雨

緊急消防援助隊応援出動報告

平成27年9月9日21時ごろ、台風18号が温帯低気圧に変化し、この低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響により、西日本から北日本にかけての広い範囲で大雨となり、特に関東地方と東北地方では9月9日から11日にかけて記録的な豪雨となりました。

9月10日11時10分、茨城県知事から消防庁長官に緊急消防援助隊の応援等の要請がなされ、12時30分、消防庁長官から山梨県知事に対し茨城県への緊急消防援助隊航空小隊として出動を求められました。これを受け当航空隊は同日から12日までの3日間、茨城県常総市において活動を行いました。

出動人員は隊員、操縦士、整備士を含め延べ27名、活動内容は救助活動14件、救助人員79名、救急活動14件、搬送人員79名、搜索活動1件、情報収集活動1件でした。



9月10日（活動1日目）

※ 16名を救助

12:30 消防庁長官より山梨県知事に対し、緊急消防援助隊航空小隊として出動の求め

13:30 双葉滑空場離陸（隊長1名・隊員5名・機長1名・副操縦士1名・整備士1名）

14:12 つくばHP 着陸

14:55 茨城県防災航空隊長より任務付与

15:06 つくばHP 離陸

常総市内にて5名を救助し救急活動に移行

15:44 前川製作所（株）緊急離着陸場（以下「前川場外」という。）着陸

地上消防隊に傷病者5名を引き渡す

15:49 前川場外離陸

常総市内にて7名を救助し救急活動に移行

16:26 前川場外着陸

地上消防隊に傷病者7名を引き渡す

16:29 前川場外離陸

16:37 つくばHP 着陸 燃料給油



茨城県防災航空隊長より活動指示

16:55 茨城県防災航空隊長より任務付与

17:02 つくばHP 離陸

常総市内にて4名を救助し救急活動に移行

17:57 つくばHP 着陸 燃料給油

茨城県防災航空隊員に傷病者4名を引き渡す



各関係機関の活動状況

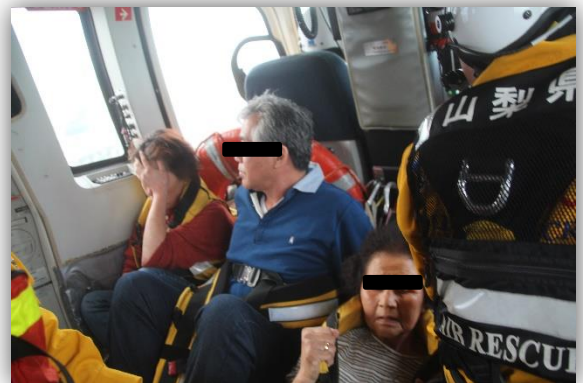
9月11日（活動2日目）

※ 58名を救助

- 5：15 茨城県防災航空隊長より任務付与
5：34 つくば HP 離陸
常総市内にて6名を救助し救急活動に移行
6：18 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者6名を引き渡す
6：22 前川場外離陸
6：31 つくば HP 着陸 燃料給油
- 7：30 茨城県防災航空隊長より任務付与
7：42 つくば HP 離陸
常総市内にて6名を救助し救急活動に移行
8：17 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者6名を引き渡す
8：23 前川場外離陸
常総市内にて7名を救助し救急活動に移行
8：57 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者7名を引き渡す
9：00 前川場外離陸
9：07 つくば HP 着陸 燃料給油
- 9：35 茨城県防災航空隊長より任務付与
9：44 つくば HP 離陸
常総市内にて5名を救助し救急活動に移行
10：07 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者5名を引き渡す
10：10 前川場外離陸
常総市内にて6名を救助し救急活動に移行
10：49 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者6名を引き渡す
10：52 前川場外離陸
常総市内にて4名を救助し救急活動に移行
11：15 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者4名を引き渡す
11：17 前川場外離陸
11：24 つくば HP 着陸 燃料給油



堤防決壊箇所



要救助者機内収容状況

- 12:15 茨城県防災航空隊長より任務付与
- 12:18 つくばHP 離陸
常総市内にて4名を救助し救急活動に移行
- 12:49 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者4名を引き渡す
- 12:58 前川場外離陸
- 13:05 つくばHP 着陸 機内清掃及び燃料給油
- 13:36 つくばHP 離陸
常総市内にて8名を救助し救急活動に移行
- 14:35 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者8名を引き渡す
- 14:39 前川場外離陸
常総市内にて2名を救助し救急活動に移行
- 14:54 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者2名を引き渡す
- 14:56 前川場外離陸
- 15:06 つくばHP 着陸 燃料給油



前川製作所（株）緊急離着陸場

- 15:39 茨城県防災航空隊長より任務付与
- 15:39 つくばHP 離陸
常総市内にて4名を救助し救急活動に移行
- 16:05 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者4名を引き渡す
- 16:08 前川場外離陸
常総市内にて6名を救助し救急活動に移行
- 16:48 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者6名を引き渡す
- 16:52 前川場外離陸
- 16:59 つくばHP 着陸 燃料給油



前川製作所（株）における応急救護所

- 17:49 つくばHP 離陸
- 18:37 双葉滑空場着陸



消防機関ヘリ集結状況

9月12日（活動3日目）

※ 5名を救助

- 5：26 双葉滑空場離陸
6：08 つくばHP 着陸 燃料給油

6：15 茨城県防災航空隊長より任務付与
7：59 つくばHP 離陸
常総市内にて3名を救助し救急活動に移行
9：08 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者3名を引き渡す
9：11 前川場外離陸
常総市内の特別養護老人ホームにて2名の救助活動中、燃料給油のためヘリは一旦つくばHPに向かう
9：30 つくばHP 着陸 燃料給油



ヘリベースにおける飛行前ブリーフィング

- 10：00 茨城県防災航空隊長より任務付与
10：00 つくばHP 離陸
常総市内にて2名を救助し救急活動に移行
10：18 前川場外着陸
地上消防隊に傷病者2名を引き渡す
10：25 前川場外離陸
10：34 情報収集活動のため、常総市内の特別養護老人ホームに隊員2名が降下
10：51 茨城県防災航空隊長に情報収集活動内容報告
11：15 同老人ホームに降下した茨城県防災航空隊員に情報収集活動内容を引き継ぎ
常総市内の搜索活動
11：40 つくばHP 着陸 燃料給油

14：00 茨城県防災航空隊長より任務付与
14：07 つくばHP 離陸
常総市内の搜索活動
15：29 つくばHP 着陸 燃料給油

17：06 つくばHP 離陸
17：54 双葉滑空場着陸



孤立した特別養護老人ホーム

山梨県国民保護実動訓練

国民保護法に基づき、国、地方公共団体、その他関係機関及び地域住民が一体となった共同の訓練を実施し、関係機関の機能強化及び関係機関相互の連携強化を図るとともに、国民保護のための措置に対する国民の理解促進を目的に、平成28年1月20日（水）に甲府市内で実動訓練が実施されました。

「コラニー文化ホールに仕掛けられた爆発物が爆発し、多数の負傷者が発生。その後、犯人グループは、甲府市内のイベント施設に対する爆発を予告し、甲府市総合市民会館で爆発物が発見される。」との訓練想定により、県内医療施設のみでは重傷者の対応が不可能であり、小瀬スポーツ公園補助競技場に設置されたSCU（広域搬送拠点臨時医療施設）から、当航空隊「あかふじ」及び埼玉県防災航空隊「あらかわ4」により、広域医療搬送訓練を実施しました。



あかふじ



あらかわ4

★ 国民保護訓練とは、我が国に対する大規模なテロや武力攻撃から国民を保護するため、国民保護措置（住民避難・救援・災害対応等）の主体である、国、地方公共団体及び関係機関の対応能力の向上を目的とした訓練です。同訓練は、平成16年6月の国民保護法の成立を受け、平成17年から各都道府県で行われており、訓練の種類には、図上訓練と実動訓練の2種類があります。さらに訓練形態には、国主導による訓練と県主導による訓練（国関与）があります。過去、山梨県では、平成21年11月21日に県主導の図上訓練を1回実施したのみであったため、総務省消防庁に対し、実動訓練実施の希望の意向を示したところ、今回の県主導による実動訓練を実施することが決定しました。

近年の我が国を取り巻く情勢や2016年の「主要国首脳会議」、2019年の「ラグビーワールドカップ2019」、そして2020年の「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」等の大規模イベント開催を見据え、万が一の事態において的確かつ迅速な対応を行うため、平素から様々な事態を想定した実践的な訓練を実施し、その教訓、ノウハウを積み重ねておくことが必要です。

静岡県消防防災航空隊緊急消防援助隊受援訓練

各関係機関との連携強化を図ることを目的に、静岡県消防防災航空隊による大規模地震等の発生を想定した、静岡県緊急消防援助隊受援計画に基づく航空小隊の受入れ、富士山静岡空港をヘリベースとした実践的な運用訓練等が、平成28年2月23(火)から24日(水)にかけて静岡県内で実施されました。

当航空隊は、「あかふじ」への消防救急デジタル無線装置搭載作業中であったため、地上支援隊として訓練に参加しました。その他に「長野県消防防災航空隊」「愛知県防災航空隊」「岐阜県防災航空隊」「浜松市消防航空隊」が活動隊として、「静岡市消防航空隊」が地上支援隊として訓練に参加しました。静岡県駿河湾を震源とする大規模な直下地震が発生、静岡県中部地方では震度6強を観測、静岡県全域において土砂災害による建物倒壊及び火災により多数の傷病者が発生、さらに津波警報の発令及び道路が損壊し孤立集落も発生しているとの訓練想定により、「緊急消防援助隊航空小隊受援・応援情報提供連絡訓練」「航空小隊参集訓練」「津波避難タワー救出訓練」「空中消火訓練」「物資搬送訓練」「救急搬送訓練」が行われました。



長野県【アルプス】



愛知県【わかしゃち】



静岡県【オレンジアロー】



浜松市【はまかせ】



岐阜県【若船Ⅰ】

総務省中央合同庁舎第2号館HP進出・離着陸訓練



東京都において大規模災害又は特殊災害が発生した場合、当航空隊は緊急消防援助隊の情報収集航空小隊として、迅速な活動を実施することとなっています。このため、災害発生時において安全かつ迅速に任務を遂行することを目的に飛行経路の確認及び近傍の医療機関等の上空偵察並びに総務省中央合同庁舎第2号館ヘリポート離着陸訓練を実施しました。



山梨県警察本部航空隊合同訓練

山梨県での大規模災害発生時や各航空機の運休時等の対応に備え、山梨県警察本部航空隊と当航空隊の円滑な連携活動を確立するため、相互の機体特性の把握、救助活動の技術交流及び協力体制の充実を図ることを目的に、平成27年4月23日は山梨県警察本部航空隊基地において、さらに平成28年3月9日は韮崎滑空場において訓練を実施しました。

今後も県民の安心・安全を守る両翼として継続的に合同訓練を実施し、大規模災害発生時等には速やかに協力体制を構築するとともに、ヘリコプターの機動性を最大限発揮した活動を行っていきたいと思います。



『あかふじ』での訓練風景



『はやて』での訓練風景



合同訓練参加者による記念撮影

合同訓練等実施内容

・山梨県水防訓練

(平成27年5月31日：南アルプス市)

滝沢川で実施された山梨県水防訓練に参加しました。当航空隊は、中洲に要救助者が取り残された想定で、救出救助訓練を実施しました。

当日は多くの訓練参加者等が見守るなか、関係機関と連携し充実した訓練となりました。



・富山県消防防災航空隊視察研修

(平成27年6月17日から18日)

当航空隊基地及び敷島総合運動公園)

富山県消防防災航空隊が視察研修のため来隊しました。当航空隊の説明、活動事例研究、各種活動資器材説明等を行い、「あかふじ」に搭乗して、敷島総合運動公園で訓練を実施しました。



・富士スバルライン自主防災協議会防災訓練

(平成27年6月11日：富士山五合目)

富士山における大規模災害発生に備え、自主防災協議会と関係機関が連携した的確・迅速な対応を図ることを目的に防災訓練が実施されました。

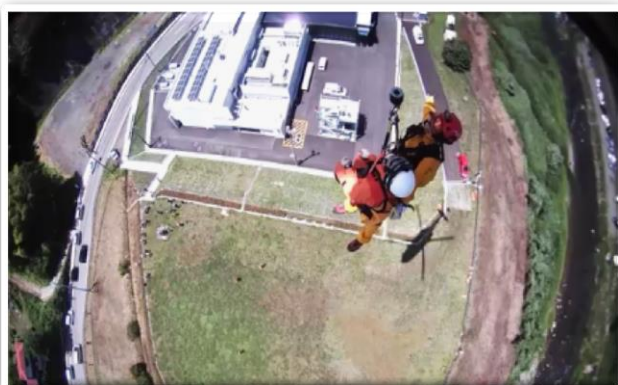
当航空隊においては、富士山五合目より県立富士北麓駐車場への救急搬送訓練に参加しました。



・上野原市消防本部合同訓練

(平成27年6月20日：上野原市沢松防災広場)

各種災害発生時における消防隊と当航空隊との円滑な連携活動を行うとともに、相互の救助技術の向上を図ることを目的として訓練を実施しました。



• 長野県消防防災航空隊合同訓練

(平成27年6月23日：長野県諏訪市)

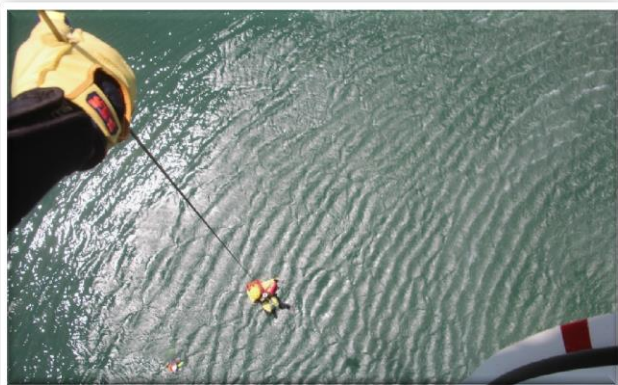
相互応援協定を締結している長野県消防防災航空隊と大規模災害時等における情報収集訓練として、長野県の可搬型受信機及び「あかふじ」のヘリTVを使用し、映像等の送信・受信状況を確認しました。



• 上野原市消防本部及び大月市消防本部合同訓練

(平成27年7月13日：上野原市島田湖)

河川という特殊な状況下において、消防隊と当航空隊の連携した活動を円滑に行うとともに、相互の救助技術の向上を図ることを目的として訓練を実施しました。



• 栃木県消防防災航空隊進出訓練

(平成27年7月10日：栃木ヘリポート)

大規模災害発生時における広域航空消防応援を想定し、飛行経路確認及び近傍の医療機関等のヘリポートの上空偵察、相互の機体や資器材の展示、意見交換等を行い、応援時の安全かつ迅速な任務遂行とともに、円滑な連携活動を図ることを目的に訓練を実施しました。



• 防災危機管理課合同訓練

(平成27年7月21日～8月12日までの8日間：
蕨崎市清哲訓練場)

防災危機管理課職員が当航空隊の救出救助訓練に参加することにより、同職員の消防防災航空活動に対する理解を深めるとともに、山梨県の防災体制の更なる充実強化を図ることを目的に訓練を実施しました。



・消防職員初任総合教育訓練

(平成27年7月24日：

消防学校及び敷島総合運動公園)

消防職員初任総合教育学生52名を対象に、午前は消防学校において講義、午後は敷島総合運動公園で機体を使用した実機訓練、機体展示を行いました。

各所属で様々な経験を積み、将来は当航空隊で活躍することを期待しています。



・都留市消防本部合同訓練

(平成27年8月1日：都留市楽山球場)

林野火災発生時に、早期に鎮圧・鎮火させるため、消防隊と当航空隊との円滑な連携活動を行うことを目的に、ポンプ給散水訓練及び偵察訓練を実施しました。



・第52回甲府市総合防災訓練

(平成27年8月30日：千塚小学校)

甲府市千塚小学校をメイン会場とした総合防災訓練に参加し、災害発生時の初動態勢として、被害状況把握のため上空からのヘリTV訓練を実施しました。



・山梨県立中央病院合同訓練

(平成27年9月4日：清哲訓練場)

山梨県内で発生する災害に対して迅速な対応を図るため、医師及び看護師が「あかふじ」に搭乗するとともに、救急現場等からのピックアップも予想されることから、相互の円滑な連携活動を確立することを目的に訓練を実施しました。



・ 笛吹市消防本部・消防団合同訓練

(平成27年9月6日：笛吹市芦川スポーツ広場他)

消防本部、消防団及び当航空隊の円滑な連携により、大規模災害に対しても相互に連携して迅速に活動することを目的に、ポンプ給散水訓練、救出救助訓練を実施しました。



・ 東山梨消防本部合同訓練

(平成27年9月10日・10月5日：広瀬ダム)

林野火災を想定した、消防隊と当航空隊との連携訓練を行うことにより、安全確実な協力体制の確立と効率的な連携活動の向上を図ることを目的に、ポンプ給散水訓練及び偵察訓練を実施しました。



・ 大月市消防本部合同訓練

(平成27年9月30日・10月2日：当航空隊基地)

平成28年1月6日：清哲訓練場

平成28年1月7日：敷島総合運動公園)

実機による隊員投入訓練の事前訓練として、当航空隊基地において、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施しました。

実機による隊員投入訓練は清哲訓練場及び敷島総合運動公園で行い、消防本部と当航空隊との円滑な連携訓練が実施できました。



・ 山梨県庁防災新館 屋上HP 離着陸訓練

(平成27年10月6日：山梨県庁防災新館)

大規模災害発生直後には「あかふじ」に県災害対策本部を統括する県幹部が搭乗し、被災状況を把握するとともに、効果的な活動調整を図ることとされているため、山梨県の防災拠点である県庁防災新館 HP において離着陸訓練及び進入離脱経路の確認を実施しました。



• 山梨県地震防災訓練

(平成27年10月25日：甲斐市)

災害対策基本法、山梨県地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民が相互に連携して、各種防災訓練を一部セミブラインド化し実践的な訓練を実施しました。

「あかふじ」は運休中であったため、静岡県消防防災航空隊の協力により、救出救助、孤立者救出、救急患者搬送、緊急物資輸送訓練を行いました。



• 静岡県消防防災航空隊視察研修

(平成27年11月10日：

静岡県消防防災航空隊基地及び富士川滑空場)

相互応援協定を締結している静岡県消防防災航空隊と災害時の更なる連携強化を図ることを目的に視察研修を実施しました。

施設見学、資器材説明、同隊の実機訓練参加及び意見交換を行い、非常に有意義な視察研修となりました。



• 県民の日記念行事

(平成27年11月15日：

小瀬スポーツ公園補助競技場)

県民の日記念行事の一環として、毎年恒例の機体及び訓練展示を小瀬スポーツ公園補助競技場において実施しました。

今年も親子連れなど大勢の見学者にお集まりいただきました。



• 群馬県防災航空隊視察研修

(平成27年11月20日：群馬県防災航空隊基地)

相互応援協定を締結している群馬県防災航空隊と災害時の更なる連携強化を図ることを目的に視察研修を実施しました。

施設見学、駐機訓練見学、資器材説明、同隊の実機訓練参加及び意見交換を行い、非常に有意義な視察研修となりました。



• 甲府地区消防本部 高度救助隊合同訓練

(平成27年12月21・22日：当航空隊基地)

災害発生時における高度救助隊員投入及び連携活動を想定して、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練、当航空隊使用資器材及びヘリコプターの特性並びに性能の説明を2日間、当航空隊基地において実施しました。



• 峡南消防本部合同訓練

(平成28年3月2日：富士川クラフトパーク駐車場)

林野火災及び山岳救助を想定した、消防隊と当航空隊との連携訓練を行うことにより、安全確実な協力体制の確立と効率的な連携活動の向上を図ることを目的に、ポンプ給散水訓練及び救出救助訓練等を実施しました。



• 富士五湖消防本部合同訓練

(平成28年3月8日：県立富士駐車場P1)

静岡県東部を震源とする東海地震の発生を想定し、関係機関との迅速な連絡・調整等を確立することを目的とした、消防本部による緊急消防援助隊受援訓練に参加し、当航空隊においては、災害発生時の初動態勢として、被害状況把握のため上空からのヘリ TV 訓練を実施しました。



派遣終了隊員紹介

副隊長 依田 実
 (南アルプス市消防本部)

救助活動	74件
救急活動	4件
火災防御	14件
緊急消防援助隊	2件
出動合計	94件
救助人員	119名

隊員 小俣貴史
 (大月市消防本部)

救助活動	56件
救急活動	3件
火災防御	14件
緊急消防援助隊	1件
出動合計	74件
救助人員	128名

隊員 田中真一郎
 (甲府地区消防本部)

救助活動	65件
救急活動	1件
火災防御	15件
緊急消防援助隊	2件
出動合計	83件
救助人員	133名



副隊長 依田 実 隊員 小俣貴史 隊員 田中真一郎

平成28年3月31日付けをもちまして、3年間の任期を終え派遣元消防本部に帰任いたします。

各消防本部並びに各関係機関の皆様には、航空隊在任中のご支援ご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

派遣元消防本部に帰りましても、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

副隊長 依田 実 隊員 小俣貴史 隊員 田中真一郎

